

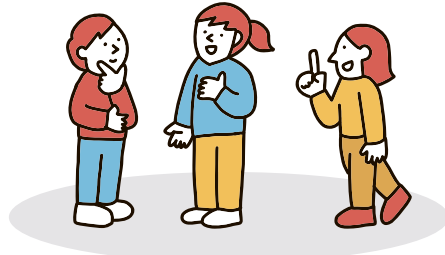
子どもオンブズ パーソンとは



子どもオンブズパーソンは、「小金井市子どもの権利に関する条例」に基づいて設置された独立性のある子どものための相談・救済機関です。

子どもの気持ちを尊重し、子どもとともに一番良い方法を考えながら、子ども自身が「もう大丈夫」と思えるようになること、自ら課題を解決できるようになることを大切にして相談者や関係者に向き合っています。相談・支援で解決しない場合は、子どもの最善の利益を一番に考慮し、救済の申立て等により関係機関に対し調査・調整を行ったり、協力や改善を求めたりすることができます。

併せて、子どもの権利に関する普及啓発を行うことで、子どもの権利を実現する文化および社会づくりをめざしています。



大切にしたい子どもの権利

小金井市子どもの権利に関する条例には

大切な5つの権利があります

意見を表明する権利

自分の考えや意見が大切にされること

安心して生きる権利

命が守られ、大切にされること
いじめられたら助けられること
病気になったら病院でみてもらえること

支援を受ける権利

困ったり、辛い気持ちになったときに、まわりの人たちに助けられること

ゆたかに育つ権利

学ぶこと、遊ぶこと、スポーツや自然に親しむこと

自分らしく生きる権利

自分らしさが大切にされること
自分のひみつが守られること
心と体を休ませる時間をもてること

オンブズパーソン



半田 勝久
大学教員

5つのなかで一番大切にしたい権利は何ですか？
その思いには子どもの今の状況が表れているかも。
かけがえのないひとりの人間として生きていくため、
その権利は特に大切に保障されなければなりません。



村井 朗子
弁護士

家から近いところに信頼できる相談室がある、それを知るだけでも悩み多き子どもたちはエンパワーされます。今後も子どもたちに直接会いに行き、「知らない人」から「知っている人」そして「信頼して相談できる人」になれるように活動していきます。

オンブズパーソン



竹内 麻子
公認心理師

戦争や災害のとき、まず脅かされやすいのは、子どもたちの権利です。
世界で不安定な情勢が続くなか、「平和」はすべての子どもの権利の土台だとあらためて感じています。

子どもの権利について、 もっと知りたい方はこちらへ

子どもの
権利サイト



市公式
YouTube



「小金井市子どもの権利 に関する条例」について

市は平成21年3月、子どももおとなもすべての人たちが幸せに暮らせるまちをめざして、「小金井市子どもの権利に関する条例」を多摩26市の中で最初に作りました。この条例は、国連の「子どもの権利条約」を基にした子どもの権利を守るための約束です。

「小金井市子どもの権利に関する条例」の前文には子どもたちの願いが込められています。

- 子どもは、愛情をもって自分のことを考え、接してほしいと願っています。
- 子どもは、自分の意志を伝え、受け止められることを願っています。
- 子どもは、より良い環境で育ち育てられることを願っています。

この願いは、子ども会議の議論に基づいてつくられました。子どもの願いを受けとめ、子どもの権利が保障される社会にしていいため、すべての子どもが生き生きと健やかに、そして安心して暮らせるまち小金井をつくることをめざします。



問い合わせ 児童青少年課児童青少年係 (☎ 042-387-9847)、子どもオンブズパーソン事務局 (☎ 042-316-1770)

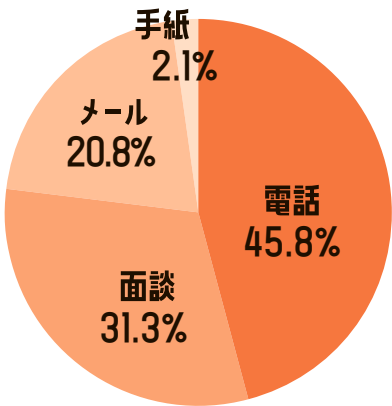
市役所の開庁時間は、原則平日午前8時30分～午後5時です。(正午～午後1時除く)
各種申し込みは、開庁時間または各施設開館時間内をお願いします

子どもオンブズパーソンの活動状況

子どもオンブズパーソンの主な役割は ①相談に対する助言・支援 ②申立て等に基づく救済活動 ③子どもの権利の普及啓発の3つです。今回は相談活動(令和6年度実績)と子どもの権利の普及啓発活動についてご紹介します。

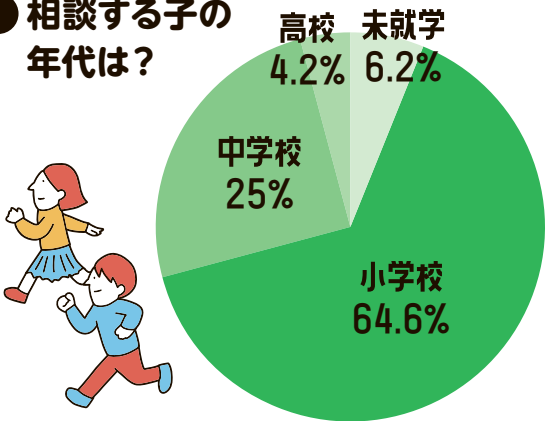


● 相談の方法は？



相談の方法で一番多いのが電話で、次に面談、メールと続きます。子どもたちが安心して話することができるように、相談室では温かい雰囲気づくりを心がけています。

● 相談する子の年代は？



子どもオンブズパーソン相談室では、子どもの権利侵害のことであれば、おとなからの相談も受けています。相談対象となる子どもの所属で一番多いのが小学校で、次いで中学校、未就学、高校と続きます。特に多いのが小学校6年生からの相談です。子どもオンブズパーソンは市立小学校の6年生に子どもの権利学習を実施していますが、授業では「どんなことでも相談してね」と声をかけています。

● 相談の内容は？

クラスの友だちと最近うまく話せなくなって、ちょっとさみしい気持ちです。自分から話しかけるのが苦手で、どうすればいいかわかりません。

昨日の夜、お父さんとお母さんがケンカをしていてよく眠れず、授業中にぼーっとしていたら、先生に注意されてしまった。先生は僕の気持ちをわかってくれなくて苦しい。どうしたらいいか。

＼「子どもオンブズパーソン相談室」の対応／

孤独な気持ちや友だちに対する不安、悩みが伝わってきました。自分の気持ちを伝える方法や、無理せず少しずつ自分から声をかける練習を相談室で行いました。後日、友だちといい関係になれたと電話がありました。

先生に「何かあったの」ときいてほしかったと話してくれて、自分ではその気持ちを先生へ伝えられないのでオンブズパーソンから伝えてほしいと希望があり、学校へ伝えに行きました。相談者は、「伝えてもらえて安心しました。」と話していました。

子どもオンブズパーソンは、子ども一人ひとりの人権や個性が尊重され、健やかに成長することができる文化・社会をつくる一翼を担いますが、そのためには市民のみなさまのご協力が欠かせません。**もし、みなさまの周りに悩んでいる・困っている子どもがいたら、どんなことでも構いません。子どもオンブズパーソンをご紹介します。**みなさま一人ひとりが「子どもたちのために協力できること」を意識していただくことで、子どもの権利が尊重され、いかにされるまちづくりにつながっていきます。

子どもの権利学習



子どもオンブズパーソンでは、市立小学校6年生と中学校2年生を対象に子どもの権利学習を実施しています。授業では、「子どもの権利とは何か?」「子どもの権利を大切にすることはどういうこと?」という2つのテーマを子どもたちと一緒に勉強しています。

その他の普及啓発活動



子どもオンブズパーソンについてもっと知ってもらうため、子ども向けイベントに出展しています。また、年に1回子どもオンブズパーソンの活動報告会を開き、子どもの権利のセミナーを開催しています。

よりそい、ささえ、気づきをサポートします

あ でんわ
会って・電話で

こ せんよう
フリーダイヤル (子ども専用)

0120-770-977

よう おとな用 **042-388-4370**

そう だん
相談できる
よう じ かん
曜日・時間

げつ か すい きん
月・火・水・金 ▶ 午後1時～午後7時
ど 土 ▶ 午前10時～午後4時
もくよう にちよう しゅくじつ ねんまつねんし やす
(木曜、日曜、祝日、年末年始はお休み)

いつでも



メールで

せんようにゆうりよく
専用入力
フォームから
そう だん
相談できるよ



て が み
手紙で

〒184-0012
こ が ね い し な か ち ょ う
小金井市中町 3-9-10 Costa4階
こ
子どもオンブズパーソンあて

いつでも



どんなことでもいいよ

ひ み つ ま も
秘密を守るよ

か ね
お金はかからないよ

